



甘野一徳（とまの・いっとく）

哲学者・教育学者 熊本大学教育学部准教授
早稲田大学大学院教育学研究科博士課程修了
博士（教育学）

早稲田大学教育・総合科学学術院助手、日本学術振興会特別研究員（PD）等を経て、現職。著書に『どのような教育が「よい」教育か』（講談社）、『勉強するのは何のため？』（日本評論社）、『教育の力』（講談社現代新書）、『「自由」はいかに可能か』（NHK出版）、『子どもの頃から哲学者』（大和書房）、『はじめての哲学的思考』（筑摩書房）、『「学校」をつくり直す』（河出新書）、『ほんとうの道徳』（トランスビュー）、『愛』（講談社現代新書）、共著書に『公教育をイチから考えよう』（日本評論社）、『問い続ける教師』（学事出版）、『学校は、何をするとところか』（中村堂）、『みらいの教育』（武久出版）、『真正の「共生体育」をつくる』（大修館書店）などがある。